

2026年3月25日
株式会社日立製作所

日立、基幹業務の Oracle システムをモダナイズする新サービスを提供開始

Oracle・AWS との DB 検証や日立実績をもとに、AI 活用に適したマルチクラウド環境のコストや移行期間の削減を実現

クラウド移行支援サービス
for Oracle Database

AWS NEW Azure OCI

迅速・安全なクラウド移行
NEW
・厳しい業務要件を満たすベストプラクティス
・移行に伴うアプリ改修

継続的なコスト最適化レジリエンス向上
NEW
・クラウド価値最大化(FinOps)
・ランサムウェア対策

基幹データの安全なAI活用
NEW
・リアルタイムなAI分析環境
・基幹DBへの影響を最小化
・データマネジメント支援

モダナイゼーション powered by Lumada

※AWS : Amazon Web Services, Azure : Microsoft Azure, OCI : Oracle Cloud Infrastructure

サービスの概要

株式会社日立製作所(以下、日立)は、Oracle Database を利用した基幹システムのクラウド移行を支援する「クラウド移行支援サービス for Oracle Database」^{*1}(以下、本サービス)に Oracle Database@AWS ^{*2}への対応と、AI 活用に適した安全なマルチクラウド環境の利用コストや移行期間を減らす新サービスを追加し、4月1日より提供開始します。本サービスは、AI ネイティブな基幹システムへ刷新する「モダナイゼーション powered by Lumada」^{*3}強化の一環であり、Oracle システムの迅速かつ安全なクラウド移行、運用から、基幹データの AI 活用までを一貫して支援するモダナイズを担うものです。Oracle システムをクラウド移行した場合の一例として、移行前後の利用コスト 30%^{*4}削減に加え、DB システムの先行検討と移行期間を合わせて2か月^{*5}の短縮ができることを確認しています。

昨今、デジタル・AI による競争が激化する中、止められない基幹システムを抱える企業にとって、AI 活用に最適なシステムへの変革や運用コストの最適化が持続的成長の鍵となります。しかし、長年オンプレミスで運用してきた基幹 DB システムでは、クラウド移行や AI 活用に際し、セキュリティや安定稼働、コスト面での懸念が変革の障壁となってきました。

そこで日立は、ミッションクリティカル領域で培ってきた豊富な構築・運用実績と、日本オラクル株式会社(以下、オラクル)、アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社(以下、AWS)との共同検証で確立した設計や運用のベストプラクティスを活用し本サービスを提供します。本サービスにより、お客さまは基幹業務への影響を最小限に抑えながら、マルチクラウド環境への移行と継続的なコスト最適化を実現するとともに、基幹データを安全に AI 活用することが可能になります。例えば、金融業界における不正取引の検知・対処や、製造・流通業における需要予測に基づく在庫適正化の判断など、即

時性と信頼性が求められる業務において、基幹データを AI でリアルタイムに活用することで、企業の競争力強化や業務高度化が期待できます。

本サービスは、AI で社会インフラを革新する次世代ソリューション群「HMAX by Hitachi」の展開を支える基盤整備にも活用していきます。今後も日立は、お客さまの事業の根幹を支えるミッションクリティカルシステムの構築・運用の知見と、最新のデジタル・AI 技術を融合させ、「モダナイゼーション powered by Lumada」を強化し、お客さまの持続的な成長に貢献していきます。

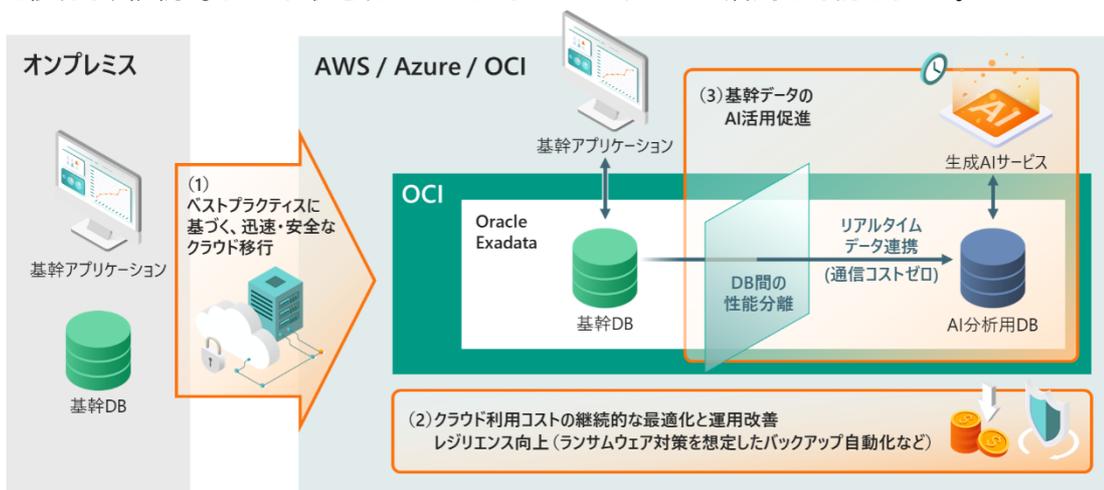
お客さま企業のコメント

株式会社ジェーシービー 上級執行役員 システム本部長 中田 一朗氏

「当社は現在、日立製作所様のご協力のもと、ミッションクリティカルな業務システムの DB を含めたクラウド移行を検討・推進しています。日立製作所様の『クラウド移行支援サービス for Oracle Database』は、オラクルや AWS との共同検証に基づくベストプラクティスにより、重要 DB の移行を迅速かつ安全に進められる点に加え、移行後の運用最適化、セキュリティ対策まで、一貫した支援を受けられる点に大きな期待を寄せています。移行後は、この安定した新基盤の上で、データを安全に活用し、より高付加価値なサービスの提供を実現していきたいと考えています。」

「クラウド移行支援サービス for Oracle Database」の新サービスについて

本サービスは、下図に示す通り、基幹 DB がもつ重要な業務データの信頼性・安全性を確保しながら、クラウドへ迅速に移行し、継続的なコスト最適化や AI によるリアルタイムデータ活用を可能にします。



※AWS : Amazon Web Services, Azure : Microsoft Azure, OCI : Oracle Cloud Infrastructure

本サービスの特長

(1) ベストプラクティスに基づく、迅速・安全なクラウド移行

日立は、ミッションクリティカルな基幹業務の厳しい要件を満たしながら、Oracle システムを確実にクラウドへ移行するための設計・構築・移行・運用に関するベストプラクティスを確立しています。基幹 DB のクラウド移行プロジェクトの一例では、ベストプラクティスを反映した設計書テンプレートを活用することで、設計項目の網羅性を確保しつつ作業効率を高め、先行検討と移行期間を 2 か月⁵短縮できる効果を確認しています。さらに今回、オラクルおよび AWS との共

同検証で得られた最新の知見をもとに、Oracle Database@AWS への対応を追加し、AWS 環境においても迅速かつ安全な基幹システムのクラウド移行を実現します。

(2) クラウドの利点を最大化し、コスト最適化とレジリエンス向上を実現

基幹システムをマルチクラウド上で安定運用するためには、業務要件とクラウド特性の双方を見極めた運用設計と、高度なエンジニアリング力が不可欠です。例えば、柔軟なクラウドリソースの利用により、基幹業務の要件であるレスポンスタイムを確保しながら、従量課金の増加を抑制する運用が必要です。本サービスでは、性能要件やリソース利用状況を継続的に分析し、不要リソース削減の自動化などにより、移行前後で 30%¹⁴ のシステム利用コスト削減に加え、継続的な最適化(FinOps)と運用改善を実現するため、日立のエンジニアがお客さまの運用チームに伴走します。また、ランサムウェア対策を想定したバックアップ運用や、セキュリティパッチ適用時の影響予測などを自動化することにより、レジリエンスを高め、基幹システムの安定運用を支援します。

(3) 安全かつリアルタイムな AI 分析環境の提供と業務適用の促進

基幹データを AI に活用するには、リアルタイム性を確保しながら、基幹システムの処理性能やセキュリティを損なわない高度な設計と運用が求められます。本サービスでは、基幹システム向けと AI 活用向けの DB サービスを分離した構成を採用し、基幹データを常時同期することで、最新データを用いた安全かつ低コストな AI 分析環境を実現します。さらに、日立が培ってきた業種・業界ごとのドメインナレッジをもとに、データの意味やつながりを整理するデータマネジメントにより、AI が基幹データを正しく解釈できるようデータ品質を維持することで、精度の高い AI の分析結果を業務に適用可能とします。

パートナー企業のコメント

日本オラクル株式会社 専務執行役員 クラウド事業統括 竹爪 慎治氏

「日立製作所様が基幹データの AI 活用を支援する新サービスの提供を開始されることを歓迎いたします。

本サービスにより、お客様は AWS 上のデータと Oracle Database 上の基幹データを、Oracle AI Database をハブとして連携し、データ移動を最小化しながらセキュアに AI でリアルタイム活用できるようになります。最新のプライベートデータに基づく正確で信頼性の高いアウトプットを得られることで、分析・文書作成にとどまらず、業務プロセスへの AI 組み込みが加速すると期待しています。金融における申請受付～審査前処理や調査、製造における設備保全や計画・予測・最適化、公共における問い合わせ対応や申請処理など、データ探索・読解負荷の高い領域での生産性向上に貢献すると考えます。さらに、センサーデータや稼働データを活用し、現場の設備・ロボット等を対象としたフィジカル AI の高度化にもつながる取り組みとして、日立製作所様とともに AI on Live Data の実現を推進してまいります。」

アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社 常務執行役員 技術統括本部長 巨勢 泰宏氏

「日立製作所様による Oracle Database@AWS の移行支援サービス発表を心より歓迎いたします。

本サービスは、日立製作所様、日本オラクル様、そしてアマゾン ウェブ サービス ジャパン(AWS)の 3 社が緊密に連携し、ミッションクリティカル要件を想定した共同検証を経て実現したものです。この検証を通じて、Oracle Database@AWS が基幹システムに求められる高い性能・信頼性・セキュリティ要件を満たすことを確認しており、お客様に安心してご利用いただ

ける環境が整いました。AWS は、Oracle Database@AWS を含めた、最も安全で信頼性が高く、広範なグローバルインフラストラクチャと、生成 AI アプリケーションやエージェントの構築に適した Amazon Bedrock をはじめとする先進的な AI サービスを提供しており、日立製作所様のミッションクリティカル領域での経験や高度な技術力と組み合わせることで、基幹データのリアルタイムな AI 活用が実現できると確信しています。AWS は、引き続き日立製作所様との協業を深化させ、お客様のビジネス変革をサポートしてまいります。」

*1：国内で前例のない 3 社連携の検証で、Oracle Database@Azure におけるミッションクリティカル用途のパフォーマンスを実現し、クラウド移行サービスとして提供：2025 年 3 月 11 日

<https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2025/03/0311b.html>

*2：Oracle Cloud Infrastructure (OCI)で稼働する Oracle Database のサービスを AWS のデータセンター内で提供するサービス

*3：AI ネイティブな基幹システムへ刷新する「モダナイゼーション powered by Lumada」を提供開始：2025 年 10 月 21 日

<https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2025/10/1021.html>

*4：Oracle システムのクラウド移行において、移行前後のシステム利用コストを特定の業務要件・運用条件に基づき日立が比較 (2026 年 3 月時点)

*5：ある Oracle システムのクラウド移行プロジェクトにおける、DB 設計の工数見積を、設計テンプレート適用の有無で比較(日立の試算)

マルチクラウド環境での 3 社連携の主な検証

- ・ Oracle Database@AWS 環境で稼働する基幹システムを想定し、大量のオンライン処理や大規模バッチ処理における性能・可用性やマルチクラウド環境における監視・運用管理のベストプラクティス
- ・ データ鮮度の維持、性能分離、アクセス制御などの要件を踏まえ、異なるデータベースサービス間の安全かつ効率的な連携方式
- ・ Oracle Database@AWS 上のデータと、Amazon Bedrock をはじめとする AWS の AI サービスを連携させ、業務効率化やシステム運用の高度化につながる AI 活用ユースケース
- ・ AWS の監視機能やバックアップ自動化、ランサムウェア対策、パッチ適用時の影響分析など、クラウド運用上のリスク低減

クラウド移行支援サービス for Oracle Database の価格と提供開始時期

目的	サービスメニュー	価格(税別)	提供開始時期
検討	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウド移行アセスメント ・SQL 移行影響診断 	個別見積	Oracle Database@AWS については 2026 年 4 月 1 日
設計・構築・移行	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウド環境設計・構築・テスト ・データ移行 	個別見積	Oracle Database@AWS については 2026 年 4 月 1 日
運用改善・レジリエンス向上	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決支援 ・クラウドコスト最適化 ・運用自動化 ・セキュリティ対策 	個別見積	2026 年 4 月 1 日
AI・データ活用	<ul style="list-style-type: none"> ・AI・データ活用支援 	個別見積	2026 年 4 月 1 日

関連サイト

- ・クラウド移行支援サービス for Oracle Database

https://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/soft1/oracle/info/support/cloud_migration_service.html?nr=260325

- ・日立のモダナイゼーション (モダナイゼーション powered by Lumada)

<https://www.hitachi.co.jp/products/it/CloudDX/modernization/index.html?nr=260325>

- ・日立のクラウド：パートナー連携

<https://www.hitachi.co.jp/products/it/harmonious/cloud/partner/?nr=260325>

商標注記

・Oracle、Java、MySQL 及び NetSuite は、Oracle Corporation、その子会社及び関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。NetSuite は、クラウド・コンピューティングの新時代を切り開いたクラウド・カンパニーです。

・Amazon Web Services、アマゾン ウェブ サービス、AWS、Amazon Bedrock は、米国および/またはその他の諸国における、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。

・Microsoft、Azure は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

・その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

日立製作所について

日立は、IT、OT(制御・運用技術)、プロダクトを活用した社会イノベーション事業(SIB)を通じて、環境・幸福・経済成長が調和するハーモナイズドソサエティの実現に貢献します。デジタルシステム&サービス、エナジー、モビリティ、コネクティブインダストリーの4セクターに加え、新たな成長事業を創出する戦略 SIB ビジネスユニットの事業体制でグローバルに事業を展開し、Lumada をコアとしてデータから価値を創出することで、お客さまと社会の課題を解決します。2024 年度(2025 年 3 月期)売上収益は 9 兆 7,833 億円、2025 年 3 月末時点で連結子会社は 618 社、全世界で約 28 万人の従業員を擁しています。詳しくは、www.hitachi.co.jp をご覧ください。

お問い合わせ先

株式会社日立製作所

AI&ソフトウェアサービスビジネスユニット

マネージド&プラットフォームサービス事業部

お問い合わせフォーム

<https://www.hitachi.co.jp/it-pf/inq/NR/>